## 〇 本校の概要

STEAMB@## 30m place   STEAMB@## 30m plac	る授業を利 に、「そうと に、「そうと という」 には良い が思う」「だし をの割合。
議議 は、主体のに、対しては関係と自分では関係を自分である。	る授業を利 に、「そうと に、「そうと という」 には良い が思う」「だし をの割合。
1 事として授え、法体的に 情報に関係しているの音度を図っている。	る授業を利 に、「そうと に、「そうと という」 には良い が思う」「だし をの割合。
服設な未来社会を切り形していたのに要な制 造力や課題検え力、情報 活用能力を育成します。	に、「そう想答した保護ない」という。 いには良い、 思う」「だい 童の割合。
議力や認動解決力、情報 「持能方限を育成します。 「おおたの未来づり利」の研究において地域の 特色をもかした予意内容を正失し、次年度の実施に同けたる機能関的な年間開発計画の作成 「最近に関する場合」というでは、15(60%未満であった。 15(60%上の発動が行った。 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表しが行った。 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表しが行った。 15(60%上を表したり、) 15(60%上を表しが行った。 15(60%上の表しが行った。	童の割合。
17.00%未並であった。	童の割合。
17.00	童の割合。
来語での実践的なコミュ ニーケーション能力を高める エーケーション能力を高める 関の質量を受けている。 エーケーション能力を高める 関の質量を対している。 関の質量を対している。 関い間で展生の伝統するにおける地域環境の理想を自分では、 現代は、直がして、協力している。 関性は、直がは、自動には、自動には、自動には、自動には、自動には、自動には、自動には、自動に	童の割合。
このテンシン能力を高める。 表が個や商士の伝統や文化の学習、人権教育を ともに、表が関す際は、 のではなく化に使れ、真理 を登場に、近いに尊重し合うのの育成を図ってい。 を登場に、近いに尊重し合うのの育成を図ってい。 を登場に、近いに尊重と合うかの育成を図ってい。 をおし、対していく概要を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成していく態度を形成します。 理像性や中心とした各世科学でのでは、河田の地域の特色 を生むたりた変態を行っている。  選達料を中心とした各世科学での学習などを選にて最終的は、25005以上の数量が行った。  「16005未満であった。 1:6005未満であった。 1:6005ままであった。 1:6005ままで	童の割合。
16.00%未満であった。	童の割合。
競技会・地域対象に関 さもら、持続同族は会 をお成していく態度を形成します。  第日と、一般の関 を表している。  第日とでも、持続同族は会 を表している。  第日の意と地域の祭りなど、羽田の地域の特色 を生かしたの観音が行った。	童の割合。
を使かしていく物域を参  別田空港や地域の祭りなど、羽田の地域の特色  全生かした取観を行っている。  全生かした取観を行っている。  全性のような異なるから、 は、たき数様等での平安などを狙い電域が は、15.60%未満であった。 は、26.00%以上の発息が行った。 は、26.00%以上の発息が行った。 は、26.00%以上の発息が行った。 は、26.00%以上が自然上が、 は、15.00%未満であった。 は、15.00%未満であった。 で、26.00%以上が自然上が、 で、26.00%以上が自然が行った。 は、26.00%以上の発息が行った。 は、26.00%によるのようには、20.00%に	格した児童
**	格した児童
環境形を中心とした会員経帯での需要が企業と選に関係的 (上記録を表現し、豊かの情報を選出の関係を図でした。 (記録を経済を実現し、豊かの情報を選出の関係を図でした。 (記録を記した、 (記録を表現し、豊かの情報を選出の関係を図でした。 (記録を表現し、豊かの情報を選出の関係を図でした。 (記録を表現した、 (記録を表現した、 (記録を表現した) (記録を表現した。 (記録を表現した) (記録を表現した。 (記録を表現した) (記録を表現した。 (記録を表現した) (記録を表現した。 (記録を表現した) (記録を表現した。 (記録を表現した) (記録を表現した。 (記録を表現であった。 (記録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	格した児童
(1.6.)  東京・生徒が豊かな人生  東京・生徒が豊かな人生  東京・生徒が豊かな人生  東京・生徒が豊かな人生  東京・生徒が豊かな人生  を生きていた」で高速とな  のなこれた、一次のないの・様  かな子丸、豊かかな体を  はやや保健は青の原産など様々な塩金を選出、、東京の場上に、・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	格した児童
現産・生徒が豊かな人生 を生きていたで高級となった。マベでの一般に動かで学の内容を開 でした。 - 1.60%ま選でカット でした。 - 1.60%ま選でカット でした。 - 1.60%ま選でカット - 1.60%まプロート -	格した児童
を生きていく上て基礎となった。 の力にして、豊かないの経力をいる。 かな子力、量やかないを経力を持ちないではなる場合を含まして、需要教育がな子力、量やかな体を かな子力、量やかな体を 対な子力、量やかな体を 対する場合を指述します。 現実を発生し、多本的な生活を関の検定を含して、需要教育 性のある教育を推進します。 現実を企業して、教育を企業により、 は会教者が行った。 1.60%未満であった。  1.60%未満であった。 2.60%以上が個景化と、 1.60%未満であった。 1.60%と表面が行った。 1.60%を表面が行った。 1.60%を表面が行るであるが行るで	格した児童
育成上す、また、乳幼児 物から中学技を7の一貫 性のある教育を推進しま。 東地学が中一貫の機能に立った教育を行っている。 - 16094年度であった。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 1.6094年度であった。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 1.6094年度であった。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 1.6094年度であった。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 1.6094年度であった。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 2.6094日上の質点が行った。 - 1.6094年度であった。 - 2.6094日上の複点が行った。 - 1.6094年度であった。 - 2.6094日との複点が行った。 - 1.6094年度であった。 - 2.6094日との複点が行った。 - 3.6094日との複点が行った。 - 3.6094日との意点が行った。 - 3.6094日との意	
性のある教育を推進しま  現場完解から中学校まで円滑な締結を行うため、効保のの 選問から中学校まで円滑な締結を行うため、効保のの 選問から中学校まで円滑な締結を行うたい。  28.05以上の数数が行った。 28.05以上の数数が行った。 16.05%表演であった。  - 16.05%表演であった。  - 2.05以上の数数が行った。 16.05%表演であった。  - 2.05%以上の数数が行った。 2.05以上の数数が行った。 16.05%表演であった。  - 2.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 3.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 3.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 3.05%以上の数数が行った。 4.20%以上の数数が行った。 3.05%以上の数数が行った。 2.05%以上の数数が行った。 3.05%以上の数数が行った。 3.0	
型産・生産一人ひとりの可能性を引き出す意料業者のおけた。 セと機能がよずりの一体的な方実の増進しよる投資の書き、 を向して、教師の授業力 を向上させます。また、質の協議である。 ・ 1.60%未選であった。 ・ 2.60%以上の整直が行った。 ・ 2.60%以上の整直が行った。 ・ 1.60%未選であった。 ・ 1.60%未選であった。 ・ 2.60%以上の整直が行った。 ・ 3.80%以上の整直が行った。 ・ 2.60%以上の整直が行った。 ・ 3.80%以上の整直が行った。	
大型・電流・ハンシーの可能性を活出で報酬を終する。 「18-0968以上の教育が行うた。 「2-0968以上の教育が行うた。 「2-0968以上の教育が行うた。 「2-0968以上の教育が行うた。 「2-0968以上の教育が行うた。 「2-0968以上の教育が行うた。 「2-0968以上の教育が行うた。 「3-0968以上の教育が行うた。 「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、19-0968以上の表述をは、「3-0968以上の表述をは、19-0968以上の表述をは、19-0968は、1	
大生・信徒一人以上の公司を行き付出す場合をおすり 大生・信徒一人以上の公司を行き付出す場合をおすり 大きの後見上の教育が行った。 2:6098月上の教育が行った。 2:6098月上の教育が行った。 2:6098月上の教育が行った。 4:628月からかった。 4:628月が行った。 4:628月が行った。 3:8098月 かけった。 4:628月が行った。 5:8098月 かけった。 5:8098月 か	
校内研究等のOJTの完実 を選して、教師の限業力 を過して、教師の限業力 を向上させます。また、質 の高い教育を実現するた。 心心にして教育論を行っている。 の、学校の機能的な選堂 力を向上します。あわせ 世報長の東吾蓮化に取り組み、児童・生態に最易が向き で、教師が以ればよう。と同じ、おいまして、おいました。 は、おいました。 世報長の東吾蓮化に取り組み、児童・生態に最易が向き で、教師がひればよう。といました。 といまと、 といまと、 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といました。 といまと、 といまと、 といまと、 といまと、 といまと、 といまと、 といまと、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と	
を適して、教師の授業力を向上させます。主た、質の高い物質を実現するため、一般では、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	
の高い教育を実践するた。 か一学校の相談的な適當 力を向上します。あわせ 整理側の業務道化化取り組み、児童・専用に使責が向き 「おおけれてきた」と全数音が回答とした。 で対して、自己評価が「日よい教育」の今年 「おおけれてきた」と全数音が回答した。 「教育がやりがいます」の今年の表示を表現を表現していまり組み、児童・中にできないると思う。 「第一年の日本語の「日本語の「日本語の「日本語の「日本語の「日本語の「日本語の「日本語の	è(OJT、研
て、教師がわりがいをもつ。会議は原本権理には「最初がある。元里」生徒に参考が同さ で、教師がわりがいをもつ。会議は原本権理する後、ウェルビーイングを書かる歌組を 3:80%以上が回答した。	∓度の目標 以上となった
4.現現・ハッを進めます。 1.00770本側とのフル。	
インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教 4:全教員が行った。	
員の資質・能力の向上や校内における支援体制 3:80%以上の教員が行った。 の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等 2:60%以上の教員が行った。	
接行っている。  を行っている。  を行っている。  は、	
て教育環境を整えるとともしている。 に、相談機能の充実を図 1:60%未満であった。	校は楽しい
生徒が自分らしくいきいき   の連携等・児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を   3:80%以上の教員が行った。   と生きるための学びを支   整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばす   2:60%以上の教員が行った。	
接します。 ことを意図した指導や支援を行っている。 1:60%未満であった。	
学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校セ 活づくりを踏まえて学習環境を整備している。 2.60%以上が回答よた。	
1:60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	
学校施設について、ICT 学習者用タブレット端末や学校図書館を活用した 3.80%以上が回答した。 選集等の教育環境の整 備を推進するとともに、児	での学習
童・生徒の安全・安心を向 遅難訓練や安全指導日などを通して、危険な災 上させるための教育を推 またがよる教育を担係機関し事性したができた。 3:80%以上が回答した。 3:80%以上が回答した。 第にかまる教育を担係機関し事性したができた。 3:80%以上が回答した。	そう思う」と
進します。	
4:学期に2~3回行った。 「地域コミュニティの株としての学校づくり」を目指して地域と 3:学期に1回以上行った。	
学校が連携・協働した様々な活動を実施している。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	
地域コミュニティの核とし ての学校づくりや地域の 国に係る影解を始端の他力により審集」でいる。  4:学期に2~3回行った。 3:学期に1回以上行った。 国に係る影解を始端の他力により審集」でいる。 4:学期に1回以上行った。 日本の中によります。 「中国に1回以上行った。 「中国に1回以上行った。」 「中国に1回以上行った。	はのわち
特色を生かした学校づくり を進めるとともに、学校・ は、生から、は、学校・ は、生からとともに、学校・ は、生からなかった。 は、生からなからに、学校・ は、生からなからに、学校・ は、生からなからに、学校・ は、生からなからに、学校・ は、生からなからに、生からなからに、 は、生からなからない。	しているの
家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演 またちを音成します またちを音成します またちを音成します	
1:実施Lなかった。	
4:学期に2~3回行った。	
4: 字類に2~3回行った。 3: 学期に1回以上行った。 2: 年1回以上行った。	
1:実施しなかった。 4:毎回情報を提供した。 4:毎回情報を提供した。	
1、実施しなかった。 地域の図書館等と連携 し、地域の文化財や歴史 を知り、身近に観しまこと を知り、身近に観しまこと がかった。 1、音楽性の文化財や歴史 を知り、身近に観しまこと を知り、身近に親しまこと であり、身近に親しまった。 「児童アンケート「図書館を利	用している
地域の図書館等と連携 し、地域の文化財や歴史 を知り、身近に観しむこと を知り、身近に観しむこと ができる取組を推進する ことで、生涯にわたって字 地域の文化財や歴史を知り、身近に観しなかった。 1. 指揮を提供しなかった。 と第二わたって字 地域の文化財や歴史を知り、身近に観しむとができる取離・ は、学期に2~3回行つた。 と答えた児童の割合。 と答えた児童の別合。	用している
地域の図書館等と連携 し、地域の文化財や歴史 し、地域の文化財や歴史 を相り李正明れたと ができる取録を推進する ことで、生涯にたかって字 を記り、身に取れたと ができる取録を推進する ことで、生涯にたかって字 を表示の表示を表示といる。	用している
地域の図書館等と連携 し、地域の文化財や四史 も地域の文化財や四史 と、地域の文化財や四史 を構成したという。12 が収さる取組を指導する と大で、生選にかって今 が収さる取組を指導する と大で、生選にかって今 が関わたとができる歌 域の文化財や歴史を知り、舟近に観しむとができる歌 第一年のでは、日本のでは、	用している